

Shin Club 04

㈱辰 通信 Vol.4
July 2000年
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-24-4-7f
Phone:03-3486-1570 Fax:03-3486-1450

今月のトーク 「これからのリフォーム」

第6回リフォーム&リニューアル展(6月28日~30日)に行ってきました。「住まいと建築のリフォームフェア 21世紀の住まいを考える」というテーマです。

リフォーム展というと、また環境に配慮した新しいタイプの建材がたくさん並んでいるのだらうと思っておりました。ところが、そんな私の思惑とはまったく異なり、今回はきたるべき高齢化社会へ向けての家作りを考える企画でした。

会場は年配の方でいっぱい。介護の補助器具や、食卓のコーディネイト、ユニバーサルデザインの雑貨、自然を上手に取り入れた設計や、環境に配慮した建材、メンテナンスの容易な設備が、時間的にも経済的にも余裕の世代に、「どうぞ、こーやって住宅に手間とお金をかけてあげてください」と呼びかけています。

ユニバーサルデザインとは何か、ご存知ですか。つまり、若い人も、男も女も、健康者も障害者も同じように使えるデザインです。誰もが、甘受できる、安全、快適で、美しくリーズナブルなものです。例えば、食器なら、引っかかりのよいスプーンやお箸だとか、形状記憶合金でできていて形を変えられるフォーク、くぼみに工夫のある皿、目にはっきりとした色合いのおわんとか、皆がいっしょに食卓を囲んで楽しめるデザインのことなのです。料理でいえば、究極のユニバーサルが「鍋物」というのは、笑いました。生活の中にそんなものを意識して取り入れ、なるべく健康的な生活を送ろうというのが、これからの高齢化社会のあり方だそうです。3日間、講演をした人たちの口か

らは、高齢者住宅を代表する「バリアフリー」、いわゆる床はつまずかないように平坦なフロアにするのがよいという、金融公庫の融資対象にもなっていた言葉はほとんどなかったそうです。

子ども達が独立したあと、子ども中心だった生活から夫婦中心の暮らしが30年から40年続くことになる となると、結構覚悟がいりますね。夫婦共通の趣味を持つ、加えて夫婦それぞれの世界を持つ、何かしら運動をする、つまり介護が必要になる時期をなるべく先に延ばし短くするように、心身の健康を維持する努力が必要です。介護保険がスタートしたけれども、このシステムがいずれは破綻するということを知っているからこそ、なるべく若い人たちのお金を使わないようにしましょうということなのです。

先日、あるテレビ番組で、日本人の資産1,300兆円のうち、1,000兆円は65歳以上の人々が持っているという話が紹介されていました。今まで年を重ねてきた人々がお金をたくさん持っているのは当然のことです。しかしその方々が何処にその資産を投入するかが問題です。このリフォーム展で言われていたように、自分の生活の無駄をいろいろとそぎ落とし、快適に身軽に過ごすために、住宅というのは本当に意味のある投資先だと思います。趣味の場であり、ボランティアの場であり、自分のささやかな仕事を行える場として、ありきたりではない自由な家作りをしていただきたいものです。

作品訪問



桜台の家(仁科邸)
練馬区桜台2-27-6

RC造 地上3階
住宅、賃貸住宅
(住宅部分)
敷地:192.79㎡
建築:83.29㎡
延床:217.54㎡
1999年10月
設計:仁科昌大(建築工房にしな)



桜台の家(仁科邸)

長年住み慣れた土地に、新しく3世代同居としての家建て直した住宅。かなりの広さの敷地のため、将来的なことも考え、構造は3階建てのRCとし、親世帯と子世帯は別棟として、ほかに賃貸住宅を設けている。

練馬のこの地域は、周囲にまだ自然の雰囲気が残る閑静な住宅街のため、開放しのようにそのボリューム感が周囲を圧倒するような建て方は避けた。壁には木やデュッセル左官材という荒めの骨材が入ったものを櫛引して採用、自然に溶け込む色使いが落ち着いた雰囲気を出している。親世帯と子世帯は、建物は別棟であるものの、3階でオープンデッキを介して連続しており、ガラス戸越しに互いが認められるようになっている。また親世帯部分にはエレベーターを設置、将来的に車椅子の生活にも対応できる。

親世帯と子世帯の違いは素材に現れ、親世帯にはメンテナンスフリーの手間をかけないものを採用したという。

この建物は、子である設計家夫妻が今後この場所で仕事をしていくにあたって、提案していきたい「これからの多世帯住宅」のモデルハウスとして建設したもので、随所にいろいろな工夫が施されており、ここで総てをご紹介できないのが残念である。



TOPIC

「早稲田予備校東京本校舎」地鎮祭(6月14日)



知る人ぞ知る13時ホールで有名な早稲田予備校。高田馬場駅から徒歩2分。地下1階、地上4階の新築工事です。

「一美邸」地鎮祭(6月20日)



東急東横線大倉山。このあたりは公園も多く、緑に恵まれた、閑静な住宅街です。山坂が多い地域でもありますが、面白い建物も少なからず見受けられます。

WHAT'S NEW

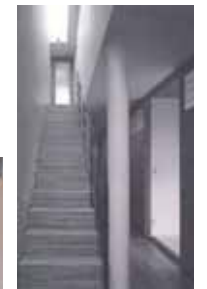
From this month's magazine



厚木の家(伊藤邸)

今月は、**新建築住宅特集「jt」00:07号**で、厚木の伊藤邸が紹介されています。この住宅はいずれご親族が隣に越してくるため、東側に大きく庭を残した細長い建物になっており、間の庭をはさんで将来予定されている家との一体感が宅地の細分化に抗う形になっているといえます。

ご夫婦と男の子4人の家族構成のため、家族の成長に合わせた改築も容易な間仕切りを採用、自然素材を愛する施主の希望で木部に用いられた無垢材や障子の紙、白い壁が明るく軽快な室内を演出しています。



BBS (掲示板)

ホームページ、リニューアルしました。
内容的には、作品紹介を行う「WORKS」の部分を更新しております。
各建物の写真をクリックしていただくと データやコメントが出てきます。
この「SHIN CLUB」も毎月10日過ぎに更新してまいります。
「建築屋へようこそ」 <http://www.esna.co.jp>

= LINK =

弊社親会社(株)ユニホームホームページを更新しました。
弊社施工の「ユニブル溝の口」の情報はこちらが便利です。
<http://www.uniho.co.jp>

NOTE

蓄熱フェアin東京(7月5日~7日;東京ビッグサイト)

今月は国をあげての蓄熱月間。事務所ビル、店舗・流通など電気を大量に使用する消費者へ、「蓄熱」の経済性、省エネルギー性、環境保全性を理解してもらおうという企画。エコ・アイス+低温冷風、躯体蓄熱は興味深い。

量のカマイ商店さん、ショールームをオープン。

6月20日~7月2日まで『量生活』というテーマでいくさの良さをご紹介されました。今後もこのようなイベントを年に何回か企画されたいとのことです。常設展もあります。1度いらっやってみてはいかがでしょうか。

ホームページはこちら (<http://kumai.tripod.co.jp>)

株式会社カマイ商店(ショールーム)
〒110-0002 東京都台東区上野桜木2-13-3 TEL03(3823)0901 FAX03(3823)0918
地下鉄千代田線根津駅(谷中方面出口)下車徒歩10分
JR山手線日暮里駅(南口)下車 徒歩8分



INFORMATION

定期健康診断 8月1日~4日まで 於:結核予防会渋谷診療所
結核検診ではありません。しかし、最近結核患者さんが増えています。気になる方は早めの検診を。